

エネルギー・環境新技術先導プログラム／ トリリオンセンサ社会を支える高効率MEMS振動発電 デバイスの研究

平成27年6月15日(月)
14:00 ～ 18:30

技術研究組合NMEMS技術研究機構(MEH)
標準化担当:出井 敏夫

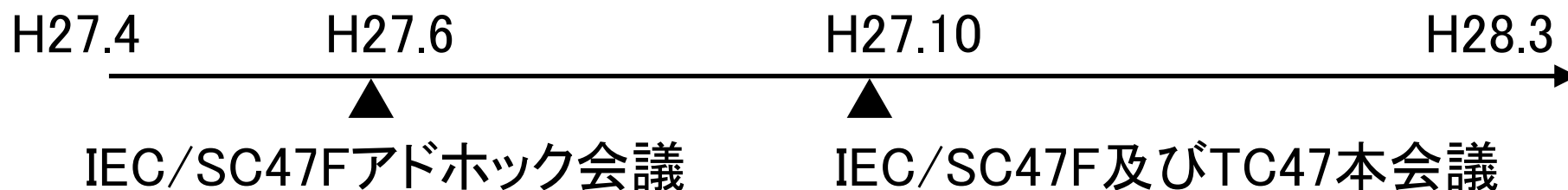
F. 標準化の戦略立案

1. 概要：標準化の戦略立案

- ・標準化可能な特性測定項目及び特性測定方法の抽出等

2. 年度計画

- ・国際標準開発(IEC国際標準化会議)における関連提案の情報収集



IEC: International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議

進捗状況(1)

1. IECにおける国際標準化提案状況(いずれも審議中)
 - (1) 圧電型発電デバイス(2012年、韓国)
 - (2) 熱電型発電デバイス(2012年、韓国)
 - (3) 電磁型発電デバイス(2012年、韓国)
 - (4) MEMSエレクトレット振動発電デバイス(2014年、日本)
 - (5) フレキシブル圧電型発電デバイス(2015年、韓国)
- ・提案件数では韓国が日本に先行
- ・既出の提案は発電方式に対応した評価方法で対象範囲は限られており、製品仕様を制限する内容ではない

進捗状況(2)

2. IEC国際標準化会議出席

(1)IEC/SC47Fアドホック会議(6/11～12 シンガポール)

- ・MEMSエレクトレット振動発電デバイス(PL:東京大学・鈴木雄二教授)の審議等を通じて標準化動向を調査した

(2)IEC/SC47F及びTC47会議

(10/6～9 ベラルーシ・ミンスク)

- ・韓国提案はTC47で審議中、SC47Fとあわせて調査が必要

IEC/SC47F: MEMSの分科委員会

IEC/TC47: 半導体デバイスの専門委員会(SC47Fの親委員会)



今後の予定

1. IEC国際標準化会議における調査

- ミンスク会議出席（特に韓国の動向を注視）

2. 提案すべき標準化項目の検討

- 発電方式に対応した評価方法
- 発電方式によらない包括的な評価方法
- 実振動環境（実使用状態）を模擬した評価方法 など